

### 1. Almost Paradise (フットルース・愛のテーマ) : Mike Reno & Ann Wilson (3:49)

1984年のアメリカ映画フットルースの挿入歌。映画は当時、日本でも大ブームとなりました。ラヴァーボーイのマイク・レノとハートのアン・ウィルソンというアメリカン・ロックバンドのボーカリストが歌い上げるサウンドは、まさに80年代王道ラブバラードですね。80年代は映画からたくさんのピット曲が生まれた時代でした。

### 2. Up Where We Belong(愛と青春の旅立ち) : Joe Cocker & Jennifer Warnes (3:53)

続いても映画のサントラ曲ですが、1982年リチャード・ギアの主演で大ヒットした恋愛・青春映画の主題歌。エンディングでこの曲が流れるシーンを何回観たことか。

ジョー・コッカーのしゃがれ声とジェニファー・ウォーンズの甘い美声の対比が絶妙で、ジョー・コッカー独特の体をよじらせてシャウトする独特のパフォーマンスも話題になりました。歌詞はなかなか哲学的内容で、いま思うと結構大胆な邦題ですよ。

### 3. Will You Love Me Tomorrow (Live At the Troubadour) : Carole King & James Taylor (4:12)

キャロル・キングとジェームス・テイラーが、60年代から70年代のころ、ふたりが出会ってライブを行っていたロスの伝説的クラブ「トルバドール」の50周年記念コンサートで、約40年ぶりにふたりの共演が実現。その模様を収録したライブアルバム「Live At the Troubadour」からの1曲。本当に名曲づくめの本作から何を選ぼうか・・・悩んだ挙句、この曲に決めました。ちょっと夜っぽいイメージの曲なんですが、お昼に聞いても素晴らしいラブバラードです。

### 4. You Are the Sunshine of My Life (Live 1977, New Orleans) : Ella Fitzgerald & Stevie Wonder (4:17)

2007年、エラ・フィッツジェラルド生誕90年を記念して企画されたコンピレーション・アルバム「WE ALL LOVE ELLA」からの1曲。錚々たるスター・シンガー達が参加したこのアルバムですが、この曲は1977年のニューオーリンズ・ジャズ&ヘリテッジフェスでの、エラのステージにスティービーが特別出演した時の録音。MCでスティービー“we all love ELLA”、エラ“we love you too!”と、互いに紹介し合うシーンや、互いに掛け合いながら歌う中で、スティービーが間違えてエラのパートを歌ってしまい、派手に笑ってごまかすあたりが本当に微笑ましい。二人とも本当に楽しそうで、僕の大好きなバージョンです。